

【第115回】防災カフェ



ビワエン君

原発事故から15年、 ふくしまの現在地

～変わりゆく景色と、未来へ備えるべき教訓～

震災から15年以上が経過した福島。当時の面影と新たな生活が交錯する現在の姿を報告します。復興が進む一方で残る課題や、長期間見つめ続けてきたからこそ分かる現状をお伝えし、私たちの地域における原子力防災についてあらためて皆様と考えてみたいと思います。

ゲスト 京都大学 環境安全保健機構放射線管理部門 准教授

つのやま ゆういち

角山 雄一 さん



※ 弱い放射線を長期間被ばくし続けた場合の生体へのリスクについて研究を行っています。小中学校での放射線入門教育や、放射線に関して科学的な視点を持った若手人材の育成にも力を入れています。

ファシリテーター 滋賀県防災危機管理局 原子力防災室 主事

みやぎし はるや

宮岸 晴哉 さん

日時 令和8年10月27日(火) 18:30～20:00

参加方法 会場(滋賀県危機管理センター 1階エントランスホール)または

Web 会議用 Zoom でご参加ください。

参加希望者は、下記アドレスまでメールをお送りください。

E-mail: bousai-cafe@pref.shiga.lg.jp

中止する場合は当日14時までにHP([滋賀県防災カフェ](#)で検索)でお知らせします。

(問合先) 滋賀県知事公室 防災危機管理局

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1 電話 077-528-3438